

豊かな人間性の育成や、自ら学び、考える力などの生きる力を育む基盤として、さまざまな体験活動の充実が重要視されている。子供たちにもものづくりの体験の機会を提供し、主体的に工作に取り組み、完成させる喜びを味わわせたいと松楠会会員が中心となり、松楠会の支援を得て、本活動を実施した。

夏季休業中にはさぬき市大川公民館の協力を得て、市内小学校にチラシを配り、参加希望者を募って、「木工体験教室」と「動くおもちゃ作り教室」を実施した。

木工体験教室は、7月24日（日）大川公民館で実施。本年度も午前の部と午後の部の2回、計27組の親子が参加し、サメの口の中で魚が動く『ショーズ（サメ）の振り子時計』を作成した。電動糸鋸で木材の形を切り抜き、紙やすりをかけて時計の本体を作り、電動ドリルで穴をあけ、時計キットや針を取り付けて仕上げた。サメの顔や文字盤はそれぞれのセンスを生かし、世界中にたった一つの自分のオリジナル時計を完成した。子供たちも保護者もとても満足気であった。



【素敵な時計が完成！午前の部の子供たち】 【慎重に木を切り抜いていく】 【完成に大満足、午後の部の子供たち】

動くおもちゃ作り教室は、7月30日（土）大川公民館で小学1年から4年生の5組の親子が参加し、実施した。毎年参加している子もいて、5年生になっても参加したいと希望があり、学年制限をなくし、高学年も楽しめる制作活動になるようさらに工夫する予定である。



【紙皿グライダー・ストローとんぼ・ひっぱりぶんぶんゴマ】づくり

【とても遠くまで飛んで、満足の笑顔】

11月6日、「さぬき市民文化祭 in 大川」が3年ぶりに開催文化祭の作品展示会場である大川体育館におもちゃづくりコーナーを設置し、『ぶんぶんゴマ』づくりをした。コロナ感染予防のためか文化祭に訪れた人は3年前より少なかったが、その分ゆったりと制作活動を楽しんでいた。



【文化祭会場での おもちゃづくり】

会員相互の研修会で「ものづくり」の輪が広がる

8月5日に東かがわ市の土曜授業で活動する予定の8名の会員が動くおもちゃ作りの研修会を実施した。さらに良くする工夫案が次々と出され、次年度に繋がる実りある研修会となった。

放課後子ども教室で、「作って遊ぼう」タイムを実施

さぬき南小学校・造田小学校・さぬき北小学校の放課後教室や造田児童館から依頼を受け、作って遊ぶ楽しさを伝えることができた。

コロナ感染予防のため、三密を避け会場の換気や用具の除菌等、細心の注意をしながらの実施であったが、今年も松楠会の支援を得て子供たちに充実した時間を提供することができ、構成会員一同大いに喜んでいる。

